

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年5月後半）

### 1. 経済

- 楽天（ヨーロッパ本社が当国に所在）、Yapital社（当国に所在する電子決済サービス提供会社）と戦略的提携を締結。（16日付ペーパージャム誌電子版）
- 当国に本社を置くRTLグループ、欧州における広告市場の不振にも拘わらず、2013年第一四半期の純利益は1億3300万ユーロで、前年同四半期比18.7%増加。右は主に、独での好調な結果のためである。（17日付ル・コティディアン紙）
- SES社、2013年第一四半期の純利益は1億4150万ユーロ（前年同四半期比▲6.4%）で、同収益は4億4080万ユーロ（前年同四半期比▲2.1%）。第2四半期には収益は増加する予定であるとのこと。（18日付及び28日付ヴォルト紙）
- 4月の失業率は6.7%（3月は6.6%で、2012年4月は6.0%）。（27日付統計局プレスリリース）
- Enovosルクセンブルク社、24日に仏ロレーヌ地方のスィイ（Souilly）に風力発電所を開設。同社の仏における風力発電所は二カ所目になる。（28日付ヴォルト紙）
- スイスの国際経営開発研究所（IMD：International Institute for Management Development）が発行する世界競争力年鑑において、当国の総合順位は13位であった（昨年12位）。（30日付ヴォルト紙電子版）
- 当国ルクスエアーグループ、2012年は1800万ユーロの営業損失を計上（2011年は同200万ユーロ）。右は、ルクスエアー社の損失、ルクスエアーツアーズ社の収益性の悪化及びルクスエアーカーゴ社の赤字などに起因する。（30日付ルクスエアーグループ、プレスリリース）
- 5月の消費者信頼感指数は▲9（4月は▲6）。同指数が前月比で後退したのは、2012年の10月以来である。（30日付中央銀行プレスリリース）

### 2. 金融

- 当国政府、FATCA（米国外国口座税務コンプライアンス法）のモデルIを採用すると21日に発表。（21日付政府公報）
- 2013年第一四半期の保険セクターの保険料収入は、前年同四半期比16.71%増加。（22日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク中央銀行、2012年末時点の資産高は1200億ユーロ（2011年末は1270億ユーロ）、2012年の純利益は180万ユーロであった（2011年は100万ユーロ）。（23日付ヴォルト紙）

- 当国所在のドイツ系プライベートバンクであるSal. Oppenheim（ドイツ銀行グループ）、2014年末までに330のポストを削減すると28日に発表。（29日付ル・コティディアン紙）
- 中国工商銀行の姜建清（Jiang Jianqing）頭取、ルクセンブルク中央銀行を28日に往訪し、ガストン・ライネシュ総裁と会談。（28日付中央銀行プレスリリース）

### 3. 政府

- フリーデン財務相、15日にALFI（ルクセンブルク・ファンド協会）主催の責任ある投資(Investissements responsables)についての年次会議にて講演。（15日付政府公報）
- ヴィズラー・インフラ相、16日に北京にて中国運輸相と会談し、物流分野での二国間協力強化につき協議。今回の訪中にはカーゴルクス社、ルクスエアーカーゴ社及びルクセンブルク空港の代表者も同行した。（16日政府公報）
- フリーデン通信・メディア相、19日にカンヌ国際映画祭の枠組みにて企画された「ルクセンブルク・デー」に出席し、映画制作者や監督と対談。（17日付政府公報）
- フリーデン財務相、当国金融センターのプロモーションのために、22日から23日にかけてストックホルム及びオスロを訪問。（21日付政府公報）
- フリーデン財務相、28日にブリュッセルにて、電子決済サービスを提供するPaypal社（本社米国）主催の、欧州における電子決済規制に係る会合に出席。（28日付政府公報）
- シュナイダー経産相、29日にブリュッセルにて、欧州競争担当相理事会に出席。（29日付政府公報）
- フリーデン財相、29日にパリで行われたOECD主催の署名式にて税務行政執行共助条約に署名。（29日付政府公報）
- シュナイダー経産相、30日にパリにてOECD閣僚理事会に出席。（30日付政府公報）
- ハンセン高等教育・研究相、30日にブリュッセルにて、欧州競争担当相理事会に出席。（30日付政府公報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。